

図書館ネットワークの未来を考える ワークショップ

目次:

- ・ ワークショップの
目的・実施 ……1
- ・ 第1回 ……2
- ・ 第2回 ……3
- ・ 第3回 ……5
- ・ 第4回 ……6

(1) ワークショップの実施

① 概要

令和10年度～11年度(2028年度～2029年度)に開設予定の(仮称)中央図書館の機能や役割、図書館施設の再編について意見交換するため、令和4年(2022年)10月～11月に計4回、ワークショップを開催しました。

② ワークショップのテーマ

ワークショップは全4回実施しました。各回テーマを設定し、議論を行いました。

STEP1

【第1回】(R4.10.13)

＜目的＞図書館の現状と基本構想の内容、豊中市全体の公共施設の状況を理解する

STEP2

【第2回】(R4.10.27)

＜目的＞図書館ネットワークについて考える

STEP3

【第3回】(R4.11.10)

＜目的＞中央館の適地において重視すべき要素を考える

STEP4

【第4回】(R4.11.24)

＜目的＞中央館・地域館・分館で重視する視点を考える、サービスポイント配置を考える

③ 実施状況

公募により10代～70代まで、約25名の方にご参加いただき、4グループに分かれて実施。毎回最後に各グループでの議論内容を発表し、全体で共有しました。



第1回:基本構想について

①当日の進行

第1回は話しやすい雰囲気づくりのため、図書館への思い等をお話頂き、基本構想へのご意見をお聞きました。

18:30	(5分)	開会・挨拶
18:35	(30分)	ワークショップの目的、基本構想について、公共施設の現状について ワークショップの進め方
19:05	(20分)	自己紹介と図書館への思い、今後の図書館への期待(アイスブレイク)
19:25	(40分)	テーマ:基本構想への意見
20:05	(20分)	本日のまとめ・発表
20:25	(5分)	閉会・次回の予定など

②ワークショップ結果

基本構想に関連し、図書館に関する様々なご意見、アイデアを頂きました。

◆ 図書館への期待

電子書籍・市史の拡充、
生涯学習の場

◆ 場所

利便性が高い駅の近く、交流の場
駅やバス停の近さ、立ち寄り

◆ 現状の維持

身近にある図書館
学校図書館との連携

◆ コンテンツ

蔵書の紹介の工夫、
人気コンテンツ、コミック

◆ スペース

多様なスペース(静か・にぎやか・学び・安心)
自習、座席数、グループ利用、飲食
静寂と会話、明るい・リラックス

◆ 地域のつながり

地域学習、学校連携
社会的なかわり

◆ サービス

読み聞かせやイベント、展示

◆ 利便機能

利用者の幅広さ、利便性の高さ
気軽に利用できる図書館、多目的な用途

◆ 他施設との連携

大学連携、広域連携
学校と子ども支援

◆ 時間

開館時間の延長、返却期限
早朝・夜の利用

◆ サービスポイント

利便性とつながりの形成

◆ 知るきっかけ

情報リテラシー、知識の広がり

◆ 司書・ボランティア

司書や市民ボランティアの活躍
質の向上(スキルアップ・レファレンス充実)
親しみやすい司書さんがいる

◆ デジタル・ICT

時代に合った対応

◆ アーカイブの活用

まちの拠点づくり

◆ 設備

殺菌、読書記録

◆ 中央館

中央館の役割(レファレンスや質向上、居心地)
図書館空白地帯への対応

◆ 地域館と中央館

地域館を支援する中央館

◆ 民間の活用

公民の連携、効率化

◆ マネジメント

持続可能な経営

◆ 財源(寄付)

ニューヨーク公共図書館のような寄付活用

◆ 基本構想全体への市民意見

市民への周知、市民主体のまちづくりが必要、基本構想の背景と目的の合致

【凡例】

(基本方針1) すべての市民の
「わたしの図書館」へ
～図書館の多様な利用を提案～

(基本方針2) 知や情報とつなげる
～資源を生かし、
市民の情報アクセスを保障～

(基本方針3) 未来へつなぐ
～持続可能な組織の構築～

基本構想全体へのご意見

第2回：図書館ネットワークについて

①当日の進行

第2回は図書館ネットワークを考えるため、中央館・地域館・分館に対する期待についてご意見をお聞きました。

18:30	(5分)	開会
18:35	(10分)	第1回ワークショップの振り返り
18:45	(10分)	ワークショップのテーマ
18:55	(5分)	ワークショップの進め方
19:00	(60分)	テーマ：中央館・地域館・分館に対する期待
20:00	(20分)	本日のまとめ・発表
20:20	(10分)	閉会・次回の予定

②ワークショップ結果

中央館・地域館・分館に対し、図書館ネットワークから個々の機能まで幅広くご意見を頂きました。

分類	内容
中央館	- サービス網の中心/専門的な司書の配置/蔵書数 100 万冊によるアーカイブ/専門性の高い本 - レファレンスの要/課題解決のための資料収集・システムが必要/地域の課題への対応/本の相談受付 - 幅広い年代層の方が使える時間帯や講座・イベント内容/子どものための図書館/誰もが安らげる場所 - 中央公民館とのコラボレーション/阪大や音大のある街としての機能拡充と連携/学校との連携 - 市のシンボルとなる建物/岡町図書館が古くなってきているので建替必要 - グローバル化(洋書)対応/郷土の図書等の集大成となるスペース - 開放的な部屋/個室的なスペース/ディスカッションできる部屋/親子で本と交われる広く自由なスペース - 大きい空間でゆったり過ごせる/広い場所と多くの席数(2~300 席)/机のある席・ソファ・長椅子をとりまぜる - 交通の便のよい場所に/市内どこからでも行きやすい/駐車場・駐輪場スペースが豊富にある - カフェスペース/持込飲食が可能なスペース/保育サービスなど子育て支援 - 民間企業とのコラボ(複合施設)
地域館	- 中央図書館機能へアクセスできる/司書がいて知恵を貸してくれる/専門図書館からの資料の取り寄せ - 分館と中央館を結ぶ/中央館・地域館は同列/地域館・分館の区別はなくフラットが良い/地域館をあと1つ - 生涯学習センターとしてコラボレーションの場/学校との連携/千里・庄内の開発史と変遷の資料がある - お母さんが安心できる/保育ルーム部屋/親子で読める広さ/小グループで語れるスペース/学習室 - 地域特性にあわせたグループ活動をつくりサポートする/誰もが安らげる場所/居心地の良い空間 - カフェスペース/持込飲食が可能なスペース - 夜間まで利用が可能/気軽に行ける/駅前や交通の便で利用しやすい場所で学生や会社員が利用しやすい - 駐車場・駐輪場スペースがある

分類	内容
分館	・ 中央館や地域館との関係はピラミッド型ではなくネットワーク型がよい/独立館として館長がいる ・ 地域館・分館の区別はなくフラットが良い/図書館への要望を受け止める基本的施設/学校との結びつきがよい ・ 地域情報の資料(風景写真、お店、学校、おすすめの場所の資料)/草の根的な教育 ・ 住民の利便性を考えた立地場所/一番身軽で気軽にこられる施設/体が不自由があっても通える距離 ・ 子育て世代が通いやすい/子ども達が利用しやすい/子どもの徒歩圏内 ・ 乳児、子育て、高齢者(認知症)等幅広い層の相談窓口と話し相手になれる/誰もが安らげる場所 ・ 公民館ごとに図書室をもうける/学校より少し大きい図書館/泉丘・上新田地域にも分館を ・ カフェスペース/持込飲食が可能なスペース/素足で読書ができるスペース/居心地の良い空間 ・ 周辺の保育所の子どもたちや保護者が利用しやすい/老人ホームの方が利用しやすい ・ 駐車場・駐輪場スペースがある/自転車で通える
その他	・ 10、20 年後子どもたちがうれしい図書館 ・ 中央館で地域館・分館の人的・資料面も支える。中央館とつながりレファレンスできる仕組み ・ どの館にも高いレファレンス機能が必要(司書の充実)/館の間での資料交換 ・ 基本構想の知名度低い/今ある機能をどう保障するのか ・ 企業、個人からテーマある蔵書の寄贈による文庫 ・ 季節ごとにテーマを決めた資料を用意した移動図書館 ・ 本屋になく、市民が買えない、買わない、知らない資料/リクエストへの柔軟な対応 ・ 図書館の開架と閉架の利用の再構築 ・ 大阪府下の図書館、大学図書館のデータのデジタル利用窓口 ・ 児童館、公民館など、今あるもので足りているのか検証する必要がある。図書館機能に限定した問題ではない ・ 中央館への予算集中が必要

第3回：中央館の適地において重視すべき要素

①当日の進行

第3回は中央館の配置を決める上でのポイントについてご意見をお聞きました。

18:30	(5分)	開会
18:35	(10分)	第2回ワークショップの振り返り
18:45	(10分)	ワークショップのテーマ
18:55	(5分)	ワークショップの進め方
19:00	(60分)	テーマ：中央館の配置を決める上でのポイント
20:00	(20分)	本日のまとめ
20:20	(10分)	閉会・次回の予定

②ワークショップ結果

中央館の配置を決める上でポイントとなる内容について、幅広くご意見を頂きました。

●交通利便性

- ・鉄道・バスといった公共交通でのアクセス、徒歩・車・自転車でのアクセス、中央館から他館へのアクセス
- ・通勤や通学、習い事などの帰りに立ち寄れる

●敷地の広さ

- ・蔵書・講座やイベント等の活動スペース・駐車場・駐輪場といった必要な機能が確保できる敷地の広さ
- ・バリアフリー化され、ゆとりを持って閲覧できる広さ/採光の良い余裕のある広さ

●安心・安全

- ・子どもやお年寄り、外国人、障害者が行きやすい/誰が見ても分かりやすい場所/夜も帰りやすい
- ・身近に感じる場所(図書館に行ったことがない人が入りやすい、親子で入りやすい)

●他館との関係、施設のあり方

- ・中央館・地域館・分館の考え方に基づく配置のバランス/独立した図書館が良い/リノベーションでもよい

●公共施設との連携・近接・シナジー効果

- ・中央公民館、文化芸術センター、市役所、体育館、公園(豊島公園)、児童館・公民館、小学校

●商業施設との近接性

- ・人の集まる商業施設の近くや商業施設の中/カフェとの併設/商業施設との複合(新たな利用者が入る)

●豊中らしさ

- ・文教のまち/まちの風景との調和/豊中らしい場所/電車の音が聞こえる

●環境・みどり

- ・公園への隣接/緑の中/屋上庭園/芝生で本が読める

第4回：中央館・地域館・分館・サービスポイントについて

①当日の進行

第4回は中央館・地域館・分館について、ワークショップ内で得られたご意見への投票と、サービスポイントの配置を決める上でのご意見をお聞きました。

18:30	(5分)	開会
18:35	(10分)	第3回ワークショップの振り返り
18:45	(10分)	ワークショップのテーマ
18:55	(5分)	ワークショップの進め方
19:00	(30分)	テーマ：①中央館・地域館・分館(これまでのご意見への投票)
19:30	(30分)	テーマ：②サービスポイント配置
20:00	(20分)	本日のまとめ
20:20	(10分)	閉会

②ワークショップ結果

中央館・地域館・分館について、投票の結果、次のような項目に票が集まりました。

全体	図書館像	● 10、20 年後子どもたちがうれしい図書館
	レファレンス、司書相談	● どの館にも高いレファレンス機能が必要(司書の充実)
中央館	役割、位置づけ	● サービス網の中心(職員研修、予算集中) ● 地域館・分館から情報を集約、全市的に発信
	レファレンス、司書相談	● あらゆるレファレンスに対応できる蔵書と司書を配置 ● レファレンス対応する資料収集・システム
	蔵書	● 郷土の図書・資料の収集
地域館	開館時間	● 夜間も利用できる
	集会、イベント	● 地域特性にあわせたグループ活動の支援
	交通利便、徒歩・生活圏、立地	● 駅前や交通の便で利用しやすい場所
分館	役割、位置付け	● 市民のきめ細かいニーズの発掘・受付
	レファレンス、司書相談	● 徒歩圏内に司書がいる
	交通利便、徒歩・生活圏、立地	● 小さくてもよいので子どもの徒歩圏にある
	連携	● 学校との連携

サービスポイントの配置について、下記のご意見を頂きました。

分類	内容
場所	・鉄道駅内(改札外)/駅前・駅近/高架下の空きスペース ・公共・公益施設内(市役所や市役所近隣・公民館(中央・分館)・小中学校・老人福祉施設・市民病院・ローズ文化ホール・体育館/保育所)、徒歩圏内の身近な施設 ・ショッピングセンター/銀行(ATM)/コンビニエンスストア ・集中しないようにまんべんなく配置/危ない所は避けたい
設備 サービス	・予約機の使いやすさ・分かりやすさ/予約本の棚をわかりやすく/既存返却ポスト活用/24 時間利用 ・図書館のショーウィンドウに/気に入った返却本があればその時に借りられる
取り組み	・市民にわかるように PR する/サービスポイントでのイベント実施 ・図書館スタッフと市民が創り上げる掲示や季節の取り組み
その他	・学校図書館の地域開放/サービスポイント以外で予算を使うべき/分館を増やすべき/各図書館での夜間返却/障害者への宅配サービス/図書館開館時の返却ポスト使用

お問い合わせ

豊中市教育委員会事務局 読書振興課
TEL 06-6843-4553(岡町図書館内)
Email okamachito@city.toyonaka.osaka.jp